

## 平成27年3月卒業生 合格体験記

私が在学当時意識していたことがいくつかあります。おそらくこれから述べることが合格につながったのだらうと思います。まず一つ目は、朝自分の可能な中で一番早いバスで登校し誰よりも長く、また下校時も誰よりも遅くまで学校に残り勉強することです。流石に部活を引退してからは家でも勉強しましたが、それまで家では全く勉強しなかったのとにかく学校にいる間に勉強しようと心がけていました。休み時間も自分の机に座り続け、勉強を続けました。これを毎日続けるだけで相当な学習時間を確保できたので、かなりの復習が可能になりました。ここで大事なのが、周りの目を気にしないことです。本気で実現したい目標のためには周りなんて気にしている暇はありません。

二つ目は、毎日自分に何かしらの課題を課すことです。私は三年の前期にはある程度単語を完璧にしたかったので、部活に行く前に英単語・古文単語のいずれかを100個覚えるようにしていました。正直部活が終わって本格的に入試対策が始まってから単語を覚え直すようなら大して成績の向上は望めません。しなければいけないことは想像を絶するほど次から次に出てきます。小テストに落ちて行列に並んで再テスト受けている時間ももったいないですし、そもそも基礎が固まらないので応用もきかないです。とにかく、毎日小さなことを積み上げて部活が終わるまでに基礎を固めることをお勧めします。そうすると、グンと最後に伸びると思います。その意味で自分への「日々の課題」を意識していました。

最後に自分と学校の先生を信じることです。塾に通う必要性などないと思います。私自身塾に通っていませんでしたし、通わずとも成績は伸びたからです。なぜなら、家では自身の勉強を進め疑問点を見つけ、それをひたすら休み時間に先生方に質問して潰していく方式をとったからです。三年生になって大事なことはいかに自分の時間を確保し、疑問を見つけ、自分の頭で考えるかです。人に頼ってばかりの学習ではいつまでたっても時間の無駄です。試験場で頼れるのは自分の頭だけです。だからこそ、自分の頭で考え先生と解決策を探ることが最大の学習法だと考えています。よく考え、どんどん質問に行きたく思います。また、共に目標に向かって歩める友人を見つけることも大事です。幸運にも私はその友人に出会い、共に努力し、何度も苦難を乗り越えられました。辛い時こそ友人と分かち合うことも大事です。

私は第一志望には落ちましたが、それでも道は開けました。入学試験など通過点にしかなりません。本気でぶつかればなんとかなります。失敗を恐れず、常に自分の中で満足のいく努力を重ねて欲しいと思います。手遅れと思わず、今からたった30秒だけでも昨日の自分より長く勉強に取り組んでみてください。毎日続けることできっとそれがあなたの道を切り開きます。来年の幸運を願っています。

(筑波大学 人文・文化学群 比較文化学類 合格)

私は九州大学芸術工学部工業設計学科に合格することができました。大学受験を経験して重要だと感じたことを書こうと思います。

まず、時間をうまく使うことです。私は部活で毎日家に帰るのが遅く、休日もほとんどありませんでした。しかし、それを言い訳にするのが嫌で、課題はなんとしても期日通りに終わらせようと、空いた時間はなるべく勉強するようにしていました。私はバス通学で、往復一時間半くらいかかっていたので、その時間は絶対に勉強すると決めていました。3年生になって部活を引退してからは、自由に使える時間が増えます。その時間をどう使うかが、結果に大いに影響してくると思います。私は授業や模試がない休日は学校へ行って自学をするようにしていました。家では気が散るものが多いからです。また、何より自分と同じように必死で勉強している友人たちがそばにいる、ということが励みになりました。

次に、日々の授業を大事にし、わからない所をわからないままにしないということです。私は疑問に思うことがあればすぐに友人に聞いていました。それでもわからなければ、先生に質問に行きました。私は物理が苦手だったのですが、先生に「どうしてもわからない」ということを伝えると、とても丁寧に教えてくださいました。質問に行くのは勇気がいると思いますが、考える手順も教えていただけるし、根本的なミスにも気づけるので、やったほうが良いと思います。

また、最後の最後まであきらめないということです。これまで述べてきましたが、何も私がすべて思い通りにいったわけではありません。うまくいかなかったことも、後悔していることもたくさんあります。私はセンター試験直前のプレテストでも目標点には届きませんでした。しかし、「現役生は最後まで伸びる」という言葉を信じて、試験当日まで必死に勉強しました。そして、本番では自己最高点をとることができました。センター試験が終わってからの二次試験対策でも、はじめはこんな問題が自分に解けるのか、ととても不安でしたが、先生方や友人たち、家族の支えにより、なんとか乗り越えることができました。

南高での三年間はすごくハードで大変でしたが、いい先生方、仲間たちに出会えて、充実していました。本当に感謝しています。勉強や部活、進路などいろいろ悩むことも多いと思いますが、信頼できる人に相談したりして、自分なりに頑張ってください。

後輩の皆さんの健闘を祈ります。

(九州大学 芸術工学部 工業設計学科 合格)